



サポート大使に認定 10/8

第10回福祉資金造成チャリティーコンサート(プロジェクト・セブン主催)が町公民館で開かれ、その会場で歌手である水瀬あやこさん(大阪府出身)が、町サポート大使第6号に認定されました。

水瀬さんは、昭和の名曲を唄い継いでいきたいとの気持ちから、昭和の歌謡曲のカヴァーを中心に活躍しており、酒井町長からサポート大使の認定証とPR用の名刺が渡されると「頑張って新ひだか町をPRします」と話していました。



町民安全大会 9/30

『交通事故死ゼロを目指す日』の町民安全大会が町公民館で行われ、各関係団体や町内の幼稚園児など、参加者は交通安全について気持ちを新たにしていました。

大会では、先の9月定例議会で議決された『交通安全町の宣言』を五十嵐町議会議長が、また町老人クラブ連合会の倉島会長が『決意宣言』を読み上げたほか、大会後には、道警音楽隊やカラーガード隊が参加者に迫力ある演奏などを披露しました。



石井病院野球チーム シーズン3冠 9/23

この日、8月から開かれていた『第19回新ひだか町長杯野球大会』で優勝し、石井病院野球チーム(三浦監督、服部主将)は、5月の『第29回新ひだか町静内野球協会長杯』6月から7月の『静内ナイターリーグA級』の優勝に加え、今シーズンの町内大会3冠を達成しました。

監督の三浦さんは「今回の結果を踏み台にし、これからも練習に励み、日高管内の大会でもタイトルを目指したい」と話しました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



チェッコイキ 10/13

アイヌ民族の伝統文化の保存と伝承者の育成及びアイヌ文化への理解促進を目的に、サケの伝統漁である『チェッコイキ』が静内川右岸で行われました。

これは、アイヌの伝統的漁具である『マレク(突き鉤)』を使った伝統的な漁を再現したもので、今回採捕されたサケは、17日に行われた舟下ろしの儀式である『チャサンケ』のなかで、サケ汁にして振る舞われました。



白寿祝状授与 10/1

北村ヨシノさんが白寿を迎え、本庄三石総合支所長から祝状、蚊野好美町社会福祉協議会会長から記念品を受け取りました。

ヨシノさんは青森県出身で、結婚後に新ひだか町静内地区や三石地区で生活。炭焼きや農業を営み、6人の子どもに恵まれました。

現在は、特別養護老人ホーム蓬萊荘に入所しており、五目並べやパズル、また毎日の食事を楽しみに元気で過ごしています。



金子竜太郎和太鼓コンサート 9/25

新ひだか町誕生5年を記念し『金子竜太郎和太鼓コンサート』が三石中学校で行われ、たくさんの町民が訪れました。

金子さんは、脱力を中心とする他に類を見ない『ゆるみ打法』で豊かな響きと多彩なリズムを追求し、世界的に活躍しています。

今回の公演でも10種類近くのパチを使って演奏し、その力強く色とりどりの演奏に会場からは、大きな歓声が送られていました。



ピアノの夕べ 9/19

新ひだか町誕生5年を記念し『札幌のメンバーによる弦楽四重奏とピアノの夕べ』が町公民館で行われ、たくさんのクラシックファンが訪れました。

公演は、札幌交響楽団の弦楽器奏者で結成されたノンノン・マリア管弦四重奏団と新ひだか町サポート大使であるピアニストの吉鷹奈津子さんの共演により行われ、ショパンやモーツァルトなどクラシックのほか、映画音楽なども披露され、来場者の耳を楽しませていました。



地デジ相談・説明会 10/14・15

2011年7月の地上デジタル放送への完全移行に備え、デジサポ道央による『地デジ相談・説明会』役場静内庁舎で行われ、参加者は、地デジ受信の準備方法等について説明を受けていました。



ブドウ収穫体験 10/13・19

幌村建設株式会社では、今年度で閉校になる三石地区4校の生徒を対象に、自社のビニールハウスで栽培しているブドウの収穫体験に招待しました。



町防災訓練 9/30

防災訓練が、町総合ケアセンターで行われ、参加者は大地震を想定しての訓練を通じ、避難所の開設や住民の安全確保などについて真剣に取り組んでいました。



ウインズ静内『伝統馬事芸能』 9/19

日高軽種馬農協北海道市場で、岩手県の伝統芸能である『チャグチャグ馬こ』が披露され、きらびやかな装束や大小の鈴をまとった馬の姿などを、来場者は楽しんでいました。